

日本 DMORT ニュース第 4 号(2019 年 10 月)

【目次】

1. DMORT 養成研修会の報告
 - 1) 新潟 DMORT 養成研修会
 - 2) 第 23 回 DMORT 養成研修会(東京)
2. 訓練参加報告
 - 1) 第 40 回九都県市合同防災訓練
 - 2) 滋賀県総合防災訓練
3. 事務局からのお知らせ

#####

1. DMORT 養成研修会の報告

新潟大学の佐藤栄一先生からの再度のお誘いに応え、5月に、新潟大学との共催で、第2回 DMORT 養成研修会 IN 新潟を開催しました。さらに、久しぶりに DMORT 本部主催の第 23 回研修会を9月に東京で開催し、12月には京都で開催されることになりました。

1) DMORT 養成研修会 IN 新潟 開催報告

(日本 DMORT 副理事長：村上典子)

令和元年5月19日(日)、新潟大学旭町キャンパス内の新潟医療人育成センターを会場に、一般社団法人日本 DMORT 主催、新潟大学医学部災害医療教育センター共催のもと、「第2回 DMORT 養成研修会 IN 新潟」を開催しました。今回2回目の開催ですので、様々な準備も新潟大学災害医療教育センターの方にすっかりお任せできるようになり、大変助かりました。



受講者は34名、スタッフ（講師）4名、タスクは3名です。新潟の受講生は他にも様々な災害医療関係のコースに受講されている積極的な参加者が多い印象です。

新潟大学災害医療教育センターの皆様、本当にお世話になり、ありがとうございました。

2) 第23回日本DMORT養成研修会 IN 東京

（日本DMORT理事：長崎靖）

令和元年9月22日、法人化後、初めての日本DMORRT本部主催によるDMORT養成研修会を東京で開催しました。東新宿の日本赤十字社東京支部2階講堂に、受講者34名、吉永理事長以下8名のスタッフ、手弁当で参加いただいたタスク12名が集まりました。今回は、毎日放送のカメラと記者および聖教新聞の記者の取材がありました。

久しぶりの法人主催のため、準備物品など忘れていたり、直前までバタバタしていましたが、無事終えることができ、終了後のアンケートからは、研修の大切さを感じたとの意見も多く、今後とも、全国で研修会を開催してゆく予定です。

開催にあたり、ご協力いただいた日本赤十字社東京支部の筆内理子様をはじめ、設営などでお手伝いいただいた方々には感謝の言葉もありません。



2. 訓練参加報告

1) 第40回九都縣市合同防災訓練（多数遺体取扱訓練）

（日本DMORT副理事長：村上典子）

【はじめに】

今回の首都圏での防災訓練にDMORTとして参加するにあたり、そこにいたるまでの経緯についても報告させていただきます。われわれは「日本DMORT」という全国組織ではありますが、事務局が兵庫県にあり、理事もほとんどが関西在住でもあり、今まで参加してきた訓練も（愛知県支部がある愛知県を除き）ほとんど関西に限られていましたので、首都圏での訓練に参加できたのは画期的なことでした。

今回、千葉県での訓練に参加させていただくにあたり、千葉県警察の DMORT に対する理解・ご協力が誠に大きかったということがあります。村上が、2017 年から警察庁の犯罪被害者支援室の企画する、全国の警察官を対象とする研修会「被害者カウンセリング技術専科」の講師として、「DMORT の講義とロールプレイの研修」を担当させていただいていることは、DMORT ニュース第 2 号（2018 年 9 月号）でも報告させていただきました。その際のご縁で、2018 年 10 月には千葉県警察学校で、県警の被害者支援を担当する警察官対象に 80 分の講義と 80 分のロールプレイ研修を実施いたしました（今年も 11 月に予定）。

さらに今年 5 月 28 日には、千葉市で「犯罪被害者等支援のための県・市町村相談関係機関職員研修」という、警察官と県・市の行政職員が合同で被害者支援対応を学ぶというユニークな研修会が企画され、新たなシナリオを作ったロールプレイ研修会も担当させていただきました。千葉ということですので、太平洋沿岸部の地震による津波、成田国際空港近くでの飛行機墜落事故、石油化学工業地帯での工場爆発事故などを想定しました。

行政職員の方は警察官とは違い、普段は遺族・遺体に関わることはほとんどないのですが、大規模災害や大事故などでは遺族対応せざるを得ない状況も考えられます。以前、横浜市の職員を対象に DMORT のロールプレイ研修を実施したこともありますが、参加者の方の声は「今まで受けた中で一番厳しい研修だった」「でも事前に準備することが大切だとわかった」といったものでした（横浜市青葉福祉保健センター長・勝島聡一郎先生の報告より）。

そんな流れの中で、第 40 回九都県市合同防災訓練で千葉県船橋市が会場となり、「多数遺体取扱訓練」はじっくり時間をと



るために9月1日の本訓練とは別の日に設定され、「船橋市の職員の遺族対応をDMORTがサポートする」という形での訓練参加となりました。準備段階として、8月1日には船橋市職員を対象とするロールプレイ研修も実施して、本番の訓練を迎えることになりました。

日時：2019年8月25日（日）

9:00 ～ 12:00

場所：千葉県船橋市

船橋市立看護専門学校

訓練想定：千葉県北西部直下を震源とするM7.3の大地震が発生し、船橋市では震度6強を観測。強い揺れによる建物倒壊等の影響により、多数の遺体が発見され、遺体安置所である看護専門学校に遺体が運び込まれることとなった。



DMORTからは吉永理事長、村上、そして正会員の主田先生（法医）、野口さん・岸野さん・矢野さん・稲波さんの4人の看護師です。詳しい遺体・遺族設定は千葉県警犯罪被害者支援室で作っていただきました。想定シナリオは6例もあり、吉永・村上以外の5人が遺族役・DMORT役をかわるがわる演じる・・・というヘビーローテーション（?!）でした（遺族役は千葉県警の方も協力）。あくまでも主役は船橋市職員の方でDMORT役はサポートに徹しましたが、今までにはなかった新たな形での訓練参加となり、大変勉強になりました。

ご協力いただいた皆様、訓練に参加下さった会員の方、ありがとうございました。

2) 令和元年度 滋賀県総合防災訓練

（日本DMORT理事：長崎靖）

日時：2019年9月1日（日） 7:00～11:30

場所：滋賀県高島市今津町今津字南沼地先

訓練想定：令和元年9月1日午前7時0分、琵琶湖西岸断層帯を震源とする大規模地震が発生、高島地域で震度7を観測し、建物の倒壊、火災派生、液状化の発生、ガス・水道・電気・電話などのライフライン施設、鉄道、道路、堤防の破損等があり、多数の死傷者が発生した。また、折からの大雨で河川は増水しており、一部地域では氾濫が生じている。

検死エリアでは、警察による検視、医師による検案、歯科医師によるデンタルチャートの作成訓練に引き続き、日本 DMORT による家族対応訓練が行われた。

滋賀の訓練では、葬祭業者が協力してくれるため、本物の棺が準備され、面会のリアリティーが増した。参加者は、吉永理事長、久保山理事、山崎理事、河野理事、浅田さん、大津赤十字病院から DMORT 役看護師さん4名、家族役をしていただく「おおみ犯罪被害者支援センター」の4名、見学者7名に兵庫県からの出張視察として参加した長崎の合計21名であった。

黒川理事の手になる悲惨の極みともゆうべき状況が想定された2種類のシナリオにより、声を荒立てる家族役の迫りに、DMORT 役がタジタジになる場面もあったが、遺族対応の重要性が印象付けられた点で良かったと考える。訓練終了後、会場及びMLにて訓練を振り返り、改善点を整理した。



3. 事務局からのお知らせ

9月末現在での会員状況をお知らせします。理事8名、正会員14名、登録会員111名、賛助会員3名（団体）です。

基本的には入会いただける方は「登録会員」となります（会費3000円）。正会員は従来の世話人や、今までに訓練に参加くださったり、研修会のタスクをして下さったり、

積極的に運営に関わって下さる意思のある方などで、理事から推薦させていただいております（会費1万円）。

当法人の会計年度は1～12月ですが、まだ今年度の会費を支払っていただけていない方が多数いらっしゃいます。ご自身が会費納入をしているかが不明の方は事務局までお問い合わせください。訓練参加やタスク参加など、会員限定の特典もありますので、是非引き続き会員になっていただけるよう、よろしくお願いいたします。

【理事名簿】

理事長：吉永和正（医療法人協和会 市立川西病院）

副理事長：村上典子（神戸赤十字病院心療内科部長）

理事：

北川喜己（名古屋掖済会病院副院長）

久保山一敏（京都橘大学健康科学部教授）

黒川雅代子（龍谷大学短期大学部教授）

河野智子（京都第一赤十字病院看護部）

長崎 靖（兵庫県監察医務室）

山崎達枝（長岡崇徳大学看護学部看護学科准教授）

監事：

鵜飼卓（兵庫県災害医療センター顧問）

【事務局所在地】

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 4-15-1 協和マリナホスピタル内

電話：0798-32-1112（代） F A X：0798-32-1222

<http://dmort.jp>

E-mail：information@dmort.jp

<編集後記>

「数十年に1度」と言われるような大雨や台風が毎年のようにやってきます……。昨年は大阪北部地震や西日本豪雨、台風など、西日本の被害が大きかったのですが、今年は東日本に大きな被害があり、特に研修・訓練で何度もお世話になった千葉県の被害には胸を痛めております……。台風19号被害の大きかった福島・宮城・長野のことも心配です。前回の発行が4月ですので、半年もあいてしまい、誠に申し訳ありません。今回は2つの大きな訓練の報告と、久しぶりの当法人主催の研修会の報告となりました。千葉県での訓練は直前になるまで詳細がわからず、登録会員の皆様に見学などのご案内ができず残念でした。研修会については、10月21日から、12月21日の京都研修会の募集が始まりました。その次は2020年3月8日、愛知県で開催予定です。

（編集担当：村上典子）